



2017年度

「人権擁護とソーシャルワーク」研修

(厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」班共催)

本研修は、医療ソーシャルワーカーやその他の専門職が「人権擁護」の視点から対象者を取り巻く社会現象を理解し、参加者それぞれの立場における支援を考えるものです。

抗 HIV 治療の進歩により HIV 陽性者の生命予後は劇的に改善し、良好なコントロールのもとで通常の社会生活が送れるようになりました。それに伴い陽性者も高齢化し非 HIV 関連疾患（脳梗塞、糖尿病、がん等）の発症や様々な社会生活上の課題を抱える方が増えています。しかし多くの地方都市では、陽性者支援経験のある実践者が身近になく孤軍奮闘されているソーシャルワーカーも少なくありません。昨年度に引き続き今年度も HIV 陽性者を取り上げ、実践において日頃抱えている不安や疑問を共有し、質の高い支援を考えることを目的とします。

今年度の会場は地域の特徴や地域文化にも着目し、福岡、仙台の2か所で行います。両研修とも認定ポイントは7ポイント、参加費は無料です。皆様のご参加を心からお待ちしております。

開催地	福岡会場	仙台会場
テーマ	『多職種連携により支援の質を高めよう』	『患者理解を深め、 今後の支援に生かしていこう～』
日時	2017年12月17日(日) 9:30-16:30	2018年1月14日(日) 9:30-16:30
会場	九州医療センター(福岡市)	仙台医療センター(仙台市)
対象	HIV陽性者への支援経験あるまたは今後可能性のあるソーシャルワーカー、ケアマネジャー、看護師等医療福祉介護従事者	ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、看護師等医療福祉介護従事者
定員	70名	50名
募集期間	2017年9月4日～10月6日	2017年10月9日～11月10日
プログラム(予定)	講義1: 人権擁護の観点からHIV陽性者支援について支援者に求められること 講義2: HIV/AIDSの最新情報 ①医療②社会資源 講義3: 当事者から支援者へのメッセージ 演習: 困難事例検討を含む多職種でのグループワーク	講義1: 人権擁護の観点からHIV陽性者支援について支援者に求められること 講義2: 血友病/HIV/AIDS 免疫と最新治療 講義3: HIV陽性者との関わり・ケアについて 講義4: HIV陽性者の社会資源について 講義5: 受入れ経験のある施設の対応と現状 講義6: 当事者から支援者へのメッセージ 演習: 意見交換や事例検討などのグループワーク

研修の申込方法 当協会ホームページの研修情報の同研修案内または本研修スケジュールの受講申込書フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

お問い合わせ先

公益社団法人日本医療社会福祉協会 事務局
〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷デンゴビル2F
TEL: 03-5366-1057 FAX: 03-5366-1058
E-mail: jaswhc@d3.dion.ne.jp
URL: <http://www.jaswhs.or.jp/>